

平成 2 7 年 度 自 己 評 価 表

学校名 愛媛県立宇和島水産高等学校  
 学校番号 44

教育方針	人格の完成を目指し、平和な国家及び社会の形成者としての普遍的な資質を養うとともに、我が国の水産業・海洋業界を進歩発展させるために必要な専門的な知識と技術を習得させ、水産人・海洋人として国家社会に貢献する有為な技術者を育成する。	重点目標	1 我が国水産業・海洋業の産業的使命を自覚させ、国際感覚を持った水産人・海洋人としての資質と実践力を育成する。 2 水産人・海洋人として必要な自律・協同及び勤労の精神を培うとともに、時代に適応した知識・技能を身に付けたスペシャリストを育成する。 3 実践体験を通して学習意欲を喚起し、問題解決能力や創造性の育成に努め、自主的に研究する態度を養う。 4 一人一人の個性に応じた指導を心掛けるとともに、人権意識の向上と豊かな人間性の育成に努める。 5 地域社会との連携を深め、水産・海洋教育の振興に努める。
------	---	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	学習の習慣化	一日 2 時間以上の家庭学習を目指す。	B	平日 48.8 分、休日 54.9 分、 考査中 150.6 分	昨年度より勉強時間が長くなっている。 資格取得のための学習や校内漢字テスト等でさらに勉強時間を増やす
	基礎学力の充実	校内漢字テスト・英単語テスト・計算力テストにおける 80 点以上の生徒の割合 40 % 以上を目指す。	A	漢字 6 回、英単語 5 回、計算力 3 回達成。	昨年度と比較して達成回数が倍増している。来年度も今度同様、呼びかけや指導に努める。
	言語活動の充実	1 時間の授業で、発問する生徒や、学習事項を発表する生徒 10 名以上を目指す。	A	100 %	今年度以上に充実に努めたい。
	思考力・表現力の育成	年間 5 冊以上の本を読む生徒 100 % を目指す。	C	5 冊以上読んだ生徒 50 % (3 冊以上読んだ生徒 66 %)	「朝の読書」の取組の継続。図書室を利用した授業・ホームルーム活動等で本に触れる機会を増やす。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	1 か年皆勤者、各学年 50 % 以上を目指す。	A	全校生徒平均 56 %	欠席の多い生徒への声かけ・指導。
		身だしなみ指導での再指導者数、各学年 5 名以下	B	各学年複数人が再指導	規範意識を高めるため根気強く指導する。
	豊かな心・健やかな体の育成	特別活動や個人面接等を通して、気力・体力・人権意識を養い、学校生活の充実度 100 % を目指す。	B	進路に関する個人面接はできた。 部活動加入率 70 % 以上	部活動の意義や人権意識・命の大切さについて日頃から伝えていく。
	奉仕精神の育成	ボランティア活動をする生徒 100 % を目指す。	B	各学年・部活動で実施できた	学校全体での取り組みをする。
	安全教育の徹底	登下校のマナーを徹底し、登下校時の事故件数ゼロを目指す。ヘルメット着用 100 %	B	登下校時の大きな事故件数ゼロ。 登下校時の着用ほぼ 100 %	登下校のマナーの徹底。ヘルメット着用推進。 自転車整備の徹底。
進路指導	進学指導の充実	進学希望者の進学率 100 % を目指す。	A	24 名合格 (1 名 3 月受験)	国公立大学への合格者を出すために、個別補習の充実を図り、学力向上に取り組む。
		水産・海洋系大学等合格者数 10 名以上を目指す。	A	10 名合格	
	就職指導の充実	就職希望者の就職率 100 % を目指す。	B	49 名中 48 名合格 (98%)	学校を休まない生徒の育成と、基礎学力の向上に取り組む。また、応募前職場見学や職場体験の機会を増やし、キャリア教育の充実を図る。
		就職希望者の水産・海洋系分野への就職率 80 % 以上を目指す。	C	水産・海洋系分野 (55%)	
資格等取得者の増加	資格試験等に積極的に取り組ませ、卒業時に一人 1 資格以上の取得を目指す。	B	3 年生 74 名中 71 名 (96%)	P T A 新聞を通して、保護者に対して資格取得の重要性を啓発する。	

\* 評価は 5 段階 (A : 十分な成果があった B : かなりの成果があった C : 一応の成果があった D : あまり成果がなかった E : 成果がなかった) とする。